

女性おうえん本

『女性のがんと外見ケア』

分田 貴子 // 著 法研 494/W29

女性に多いがんと治療に伴う副作用について、がんの種別・治療ごとに解説。頭髪の問題、創あとなどについての対処法や、見た目の変化を目立たなくするメイクや下着など具体的にQ&A形式で紹介されています。

『女性学入門』

杉本 貴代栄 // 編 ミネルヴァ書房 367/Su38

ジェンダーに関わる多領域をカバーし、最新の法律等の情報を盛り込んだテキスト。LGBTや奨学金問題等に関する解説を新たに掲載し、2017年施行の改正男女性雇用機会均等法などの最新の法令改正に対応した改訂版。

『北欧に学ぶ小さなフェミニストの本』

サッサ・ブーレグレン // 作 岩崎書店 T367/B91

社会で活躍する女性が多い、男女平等の先進国スウェーデンの、10歳の女の子エッバと一緒に、だれもが平等に自分らしく生きるとはどんなことかを広い視野から考え綴られています。

『女性の「定年後」』

香山 リカ // 著 大和書房 159/Ka98

夫がいても、いなくても。子がいても、いなくても。女性達に向けて、老いることに振り回されず、軽やかに定年後を迎えるための準備と心がまえが説かれた一冊。

貸し出し中の場合はご予約できます。
また、分館からお取り寄せもできます。
カウンターまでお申し出ください。

女性問題 ブックリスト

2018年度 上半期購入分
三条市立図書館

女性と労働

『働く女性に贈る27通の手紙』

小手鞠 るい 望月 衿子 // 著 産業編集センター 914/K021 (栄分館)
結婚・独身、産む・産まない、都会暮らし・地方暮らし…。気鋭のフリーライターとアメリカ在住の作家が、「女性が働き続けること」について語り合った往復書簡。働く働かないに関わらず女性にお薦めしたい一冊。

『21世紀の女性と仕事』

大沢 真知子 // 著 左右社 336/O74
日本ではなぜ家庭と仕事の両立が難しいのか、どうしてキャリアを築けないのか。様々な問題をアメリカと日本で比較し、女性と仕事を一から問い直した一冊。女性が多く働く企業の実践例と、最新データも多数掲載されています。

『フェミニスト・ファイト・クラブ』

ジェシカ・ベネット // 著 海と月社 366/B35
職場での女性差別にどう対処すればいいのか。女性が反撃するときに必要な「巧みな戦術のすべて」を、様々な事例別にイラスト&ユーモア満載でわかりやすく紹介しています。

『女子のための「手に職」図鑑』

華井 由利奈 // 著 光文社 T366/H27
結婚、妊娠、出産、子育てと仕事に関する情報を、100種類の職業ごとに分類。出産後も好きな仕事を続けたいからこそ、知っておきたいリアルな現状を解説した、女子のための頼もしい仕事図鑑。

『農家女性の戦後史』

姉齒 暁 // 著 こぶし書房 611/A49
大きく変化していく農村の風景と家族のありさまが記録された『日本農業新聞』の女性投稿欄「女の階段」の貴重な手記を軸に、農家女性の思いとその背景となった時代を読み解いています。

現状・生き方

『男女平等はどこまで進んだか』

国際女性の地位協会 // 編 岩波書店 T367/D37
女性差別撤廃条約と、条約を基にした男女平等の国際基準の展開について、身近なテーマやトピックスを切り口に紹介。ホットな課題を取り上げながら、条約の関連する条文の内容をやさしく解説した一冊。

『大人の女といわれる生き方』

家田 莊子 // 著 さくら舎 914/I21
どうすれば自分らしく、日々をたのしんで生きていけるか。「好奇心を枯らさない」「過去を追いかけない」「ひとり旅の極意」など、大人女子の心のあり方や、賢くカッコよい生き方が説かれた一冊。

『女は「政治」に向かないの?』

秋山 訓子 // 著 講談社 312/A38
男性ばかりで決めてきた世界に斬り込んだ7人の女性政治家たちが、どんな思いで政治を志し、どんな経験をしてきたのか本音でこれまでの歩みを語る。女性ができることを考えさせられます。

『地図とデータで見る女性の世界ハンドブック』

イザベル・アタネ [ほか] // 編 原書房 367/C49
先入観を排した科学的な視点で、現代の重要な問題のひとつである女性をめぐる状況を知り、女性たちの目覚しい躍進とそれを妨げている要因を推定するために、詳しい地図とデータで読み解きます。

『夫婦という他人』

下重 暁子 // 著 講談社 367/Sh52
同化するのではなく、お互い違う人間だと認めあい、個を尊重する。結婚生活45年の著者が自身のこれまでを振り返り、夫婦が不確かになる時代にあるべき「新しい生き方」を考え綴っています。